

事務事業名	上川右岸第4排水区浸水対策事業	事業期間	2018 ~ 2023 年度	係内番号	03
担当部署	都市建設部 水道課	下水道整備係		連絡先	656

計 画 目 的 手 段 ・ 方 法	政策番号	05	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高						
			基本計画①	01	都市計画マスタープラン	0302	下水道の整備方針									
			基本計画②	01	都市計画マスタープラン	0302	下水道の整備方針									
			実行計画	12	下水道中期ビジョン（下水道事業特別会計）	0202	雨水排水施設の整備推進									
予 算 事 業 名	上川右岸第4排水区浸水対策事業						会計コード	22	款	01	項	01	目	02	事業	30
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）															
	現状と背景 （どうして）															
	目的 （どんな状態にしたいか）															
手 段 ・ 方 法	上原区下町地区において、平成18、29、30年度の豪雨により上川水位既設雨水幹線（通称：小江川）が溢水し、近隣住宅等に床上浸水の被害が発生した。平成18年度の浸水被害を受け対策を講じていたが、近年の頻発するゲリラ豪雨、大型台風により既設の対策だけでは、対応できなくなっているのが現状である。															
	受益者 （誰のために）															
	対象 （直接働きかける）															
	図 （どんな状態にしたいか）															
現地地形測量、浸水シミュレーション、地質調査、詳細設計、工事発注と完成を行う。																
A N N （ ）	行政が活動することで作り出すもの															
	指標名称															
	単位															
	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など															
	最終目標値															
	1 スムーズな事業の実施															
	年間事業実施率															
	%															
	年間実施事業費/年度予算															
	100															
2																
3																
変更履歴																
成果・効果は何？																
指標名称																
単位																
算出方法・計算式・目標値設定の考え方など																
最終目標値																
1 浸水被害の低減																
浸水被害の低減																
%																
（浸水被害対象件数-浸水被害件実績数）/浸水被害対象件数×100																
100																
2 浸水対策工事の進捗																
浸水工事進捗率																
%																
実施済み工事/全体工事×100																
100																
変更履歴																

実 施 状 況 （ ） D O （ ）	項	目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	財 源 内 訳	事業費等(a)		円	81,566,574	237,412,000			
		国庫支出金	円	25,400,000	75,000,000				
		県支出金	円						
		地方債	円	23,290,560	67,500,000				
		その他特定財源	円	32,876,014	94,912,000				
	活 動 指 標	年間事業実施率		目標	67,176,000	230,000,000			
				実績	69,616,800				
				達成率	103.63	-	-	-	-
		-			目標				
			実績						
		達成率	-	-	-	-	-		
成 果 指 標	浸水被害の低減		目標	100					
			実績	0					
			達成率	0.00	-	-	-	-	
	-	浸水工事進捗率		目標	100				
				実績	0				
			達成率	0.00	-	-	-	-	
備考									

事務事業名	上川右岸第4排水区浸水対策事業	事業期間	2018 ~ 2023 年度	係内番号	03
担当部署	都市建設部	水道課	下水道整備係	連絡先	656

項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
中 評 価 課長評価日	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化				
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)				
	翌年度方向性				
	成果				
	コスト				

項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事後 評 価 課長 評価 日	<p>～成果～</p> <p>変果</p> <p>動指</p> <p>要標</p> <p>因分</p> <p>～析～</p> <p>平成30年7月豪雨により、日本全国的に排水用ポンプの需要が高まり、仮設排水ポンプ設備が十分に手配できなかった。このこともあり、昨年同様の大型台風の影響により、溢水し2年連続で浸水被害が発生してしまった。</p>				
	<p>成果</p> <p>総合評価</p> <p>課題</p> <p>現況測量、浸水シミュレーション、地質調査、詳細設計の委託業務を発注し、完了することができた。</p> <p>浸水シミュレーションにより想定より大容量のポンプが必要になったこと、地質調査により想定より軟弱地盤層が多く、支持層が深い位置にあったことが分かった。これにより、イニシャルコストが増大することが懸念されるが、可能な限りコスト削減策を構築していく必要がある。</p>				
	<p>翌々年度方向性</p> <p>成果</p> <p>コスト</p> <p>拡充</p> <p>拡大</p>				
	<p>改革・改善の方向性(ACIT)</p> <p>内容及び</p> <p>トータル事業費の削減を図るため、2019、2020年度の2箇年に設置する仮設ポンプ費をレンタル費と購入費を混ぜながら、コスト改善を実施していく必要がある。</p>				

作成担当者	武井 英昭				
最終評価責任者	柳沢 昭弘				
最終評価年月日	2019年5月17日				